

亜細亜大学

令和3年度「データサイエンス副専攻」

点検・評価報告書

亜細亜大学 内部質保証評価委員会

令和4年5月10日作成

令和3年度「データサイエンス副専攻」点検・評価報告書

内部質保証評価委員会

委員長 永網憲悟

1. 点検・評価の実施

亜細亜大学データサイエンス教育委員会が実施主体となり、令和3年度のデータサイエンス副専攻に関連する授業科目の自己点検・評価を行った。

2. 点検・評価の対象

令和3年度の授業科目の点検・評価を対象とした。また、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度実施要綱細目」（令和3年2月24日制定）に基づき、亜細亜大学データサイエンス副専攻の開講した授業科目の「履修・修得状況」、「学修成果」、「学生アンケートに基づく学生の内容の理解度」、「他の学生への推奨度」、「全学的な履修者数・履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況」を対象とした。

3. 評価結果の判定

「亜細亜大学データサイエンス教育委員会による自己点検・評価結果」に基づき、内部質保証評価委員会が判定した。

【評価レベル】

- A 『優れた点』があり、十分に行われている。
- B 概ね行われており、相応である。
- C 改善の必要がある。

4. 内部質保証評価委員会の評価結果

【評価レベル B】

概ね適正に行われていると判定する。

「他の学生への推奨度」などの項目を含む教育プログラム独自のアンケートを実施し、結果を集計中であるため、その結果に基づき、学習成果の把握の実質化に取り組んでいただきたい。

5. 亜細亜大学データサイエンス教育委員会による自己点検・評価結果

(1) 授業科目の点検・評価

点検項目	点検結果	評価結果
教育プログラムのディプロマポリシー（DP）を定め、これに沿って教育プログラムの科目を配置し、カリキュラムを構築しているか。	データサイエンス副専攻（以下「教育プログラム」という）のディプロマポリシー（DP）として「副専攻修了証授与方針」を定め、教育プログラムのウェブページで学内及び社会に対して公開している。3項目からなるディプロマポリシー（DP）をさらに8項目のDP項目に細分化し、これらをカバーするように教育プログラム科目を配置し、カリキュラムを構築している。（参考資料「副専攻修了証授与方針」）	教育プログラムのディプロマポリシー（DP）を定め、インターネットを通じて公開し、これに沿って教育プログラムのカリキュラムを構築しており、基準を満たしている。 (評価レベル B)
教育プログラムのカリキュラムマップを作成し、学生・教員が学修効果・教育効果を確認できるようにしているか。	前項のディプロマポリシー（DP）を細分化した8項目のDP項目と、教育プログラム科目の対応関係をカリキュラムマップとして整理し、教育プログラムのウェブページで学内及び社会に対して公開している。学生はこれを参照して各自の学修の進捗を把握することができ、また教員はこれを教育効果の把握とカリキュラム改善に活用することができるようにしている。また、カリキュラムマップに基づき学習成果を可視化するシステムの構築を検討中である。（参考資料「カリキュラムマップ」「副専攻修了証授与方針に基づく学習成果の可視化」）	教育プログラムのディプロマポリシーと教育プログラム科目の対応をカリキュラムマップとして整理し、インターネットを通じて公開し、学生及び教員が活用できるようにしており、基準を満たしている。 (評価レベル B)
教育プログラム科目の「学修目標」、「成績評価方法等」を各科目のシラバスに記載しているか。	本学の全科目でシラバスに「学修目標」及び「成績評価方法等」を記載することが義務付けられており、教育プログラム科目のシラバスにおいても記載を行っている。	教育プログラムの全科目のシラバスで「学修目標」及び「成績評価方法等」を記載しており、基準を満たしている。 (評価レベル B)

<p>学修成果の評価に用いた課題の答案等はできるだけ返却しているか。</p>	<p>教育プログラム科目のほぼすべてで LMS (manaba, Google Classroom) を活用して授業を行っており、これらの科目では課題の出題・提出・採点も LMS 上で行っている。これらの課題の答案は、採点後に採点結果とともに学生が閲覧可能な状態となり、事後学修に利用されている。</p>	<p>教育プログラムのほぼすべての科目で LMS (manaba, Google Classroom) を使用し、答案が学生に返却されており基準を満たしている。 (評価レベル B)</p>
--	--	--

(2) 教育プログラムの点検・評価

点検項目	点検結果	評価結果
<p>教育プログラムの履修・修得状況・学修成果を確認できているか。</p>	<p>令和2年度は1年生140名、2年生93名、3年生71名が登録した(2・3年生の登録は教育プログラム初年度のみ措置)のに対し、令和3年度は170名の1年生が登録した。また、令和2年度に登録した3年生71名のうち14名が令和3年度末に修了する見込みである。</p>	<p>令和3年度は教育プログラムを開始して2年目であるが14名の修了者が出る見込みであり、また170名の1年生が登録していることから今後修了者が増加していくことが予想され、基準を満たしている。 (評価レベルB)</p>
<p>全学的な履修者数・履修率向上に向けた計画を実施し、進捗状況を確認できているか。</p>	<p>令和3年度は前年度を上回る170名の1年生が登録した。また、5カ年の履修者数向上計画を策定した他、「亜細亜大学データサイエンス大賞」を制定しデータサイエンス関連資格取得者に対して報奨金を授与するなどの施策を実施している。(参考資料「亜細亜大学データサイエンス大賞報奨金規程」「亜細亜大学データサイエンス大賞基準表」)</p>	<p>令和3年度は前年度を上回る1年生が登録したほか、5カ年の履修者数向上計画を示し、これを実現するための施策も実施しており、基準を満たしている。向上計画の進捗状況は次年度以降に確認する。 (評価レベルA)</p>
<p>学生アンケートに基づく学生の理解度・他の学生への推奨度を確認できているか。</p>	<p>令和3年度後期の学生アンケートで「到達目標の達成」「新たな興味の高まり」「授業への満足」の3項目で「そう思う」「強くそう思う」が全科目で6割以上、コア科目群では9割を超え高い評価を得ている。また、教育プログラムの「他の学生への推奨度」などの項目を含む教育プログラム独自のアンケートを実施し、結果を集計中である。</p>	<p>全学対象のアンケートの結果から、教育プログラム科目の高い理解度を確認している。また、「他の学生への推奨度」などの項目を含む教育プログラム独自のアンケートを実施しており基準を満たしている。 (評価レベルB)</p>

<p>教育プログラムが示すモデルカリキュラムとの対応を確認できているか。</p>	<p>教育プログラムを構成する14科目の令和3年度シラバスを確認し、本学学生が広く興味を持つ内容であるとともに、モデルカリキュラムの「導入・基礎・心得」の5項目に加え、「選択」の内容もカバーしていることを確認した。</p>	<p>教育プログラムを構成する科目のシラバスとモデルカリキュラムの対応を確認し、「導入・基礎・心得」に加え、「選択」の内容を含むことも確認しており、十分に基準を満たしている。 (評価レベルA)</p>
<p>教育プログラム修了者の進路・活躍状況を確認できているか。</p>	<p>令和3年度末に初めての修了者が出る予定であり、初めての修了者の進路に関する情報を収集中である。</p>	<p>教育プログラムの初めての修了者の進路の情報を収集中であり、基準を満たしている。 (評価レベルB)</p>
<p>教育プログラムの点検・評価結果をインターネット等を通じて公開しているか。</p>	<p>教育プログラムの「点検・評価報告書」を、以下の教育プログラムのウェブページで公開している。 https://www.asia-u.ac.jp/academics/minor/1/</p>	<p>教育プログラムの点検・評価を実施し、その結果を教育プログラムのウェブページで公開しており、基準を満たしている。 (評価レベルB)</p>

以上